主催:広島大学エクステンションセンター・産学・地域連携センター 後援:広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

イノベーティブ企業家

受講者募集 定員: 150名 対象: 学生及び一般

参加無料

2015年12/22~2016年1/26 (全4回・火曜日) 18:10~19:40 広島大学東広島キャンパス 工学部111講義室

本公開講座は本年度で8年目を迎えます。革新的な企業活動をしている明太子老舗のふくやをはじめ、ベンチャー企業として 頭角を現した Sansan 株式会社、広大発ベンチャー企業株式会社広島クライオプリザベーションサービス、日本初の「道の駅」 という経済地方創生の秘策を探る技術戦略と管理システム構築等、企業経営の成功経験について学びます。なお、企業社会を 生き抜くベンチャーマインドについての新しい視点を見出す機会となるように願っています。

第1回

◎ガイダンス、全体概要と開講の主旨

工学研究院 特任教授 伊藤孝夫

産学・地域連携センター教授 橋本律男

12/22 @

大学発ベンチャーの成功事例

株式会社広島クライオプリザベーションサービス 代表取締役 島田昌之

世界初の実用化水準のブタ凍結精液を用いた人工授精法の確立したことから会社を設立し、その後もニーズに応じた発展を続ける広大発のベンチャー企業が、事例を交えた講義を展開する。



第2回

1/17 @

名刺管理ビジネスにおけるイノベーション戦略

Sansan 株式会社 取締役 富岡 圭



ベンチャー企業として世界初の名刺管理サービスを生み出し、そのグローバル展開を目指している経営者が、企業経営とITの関係、市場の創造とマーケティング戦略を説明する。



第3回

1/19@

明太子の技術と市場開発

株式会社ふくや 代表取締役社長 川原正孝



明太子の老舗の経営者の立場から、明太子の誕生歴史をはじめ、老舗ならではの 商品開発、社員教育、品質管理及び社内ベンチャーの事例を紹介する。



第4回

技術戦略:道の駅と地方創生

1/26®

宮崎大学 地域資源創成学部 教授 熊野



地方創生の秘策として日本発の道の駅の立ち上げから今日まで、理論と実践の両方から追求し続けてきた者の立場から、その歴史をはじめ、運用の秘訣、経済効果、及び将来への更なる発展の課題と問題点を分かりやすく説明し、イノベーティブとの関連を語る。



問合せ先

広島大学産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門 VBL Office メール: office@vbl.hiroshima-u.ac.jp 電話: 082-424-7880

申込先・申込方法

産学・地域連携センター VBL Office 及びエクステンションセンターにて受付 ※産学・地域連携センター VBL Office では、メールまたは電話にて (氏名・住所・電話番号・メールアドレスをお教えください。)

メール:office@vbl.hiroshima-u.ac.jp 電話:082-424-7880

※エクステンションセンターでは、ウェブサイトまたは電話でご確認ください。URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/extension 電話: 082-424-6140